



「地域円卓会議」など、マルチ・ステークホルダー・プロセスの進め方 例



こんなときには…

「これではできない」「いっさい譲れない」と主張する人・団体がいて、議論も協働も進まない…

→ その人・団体の考え方だけの問題ではなく、事情や理由もあるのでしょうか。その人の上司・同僚の方にも同席していただき、事情や理由について、詳しく聞き出す機会を設けましょう。その際に、全体での議論の流れや共有された目標、期待される成果や役割などについて、改めて上司や同僚の方にもお伝えし、どうすれば協働が進むか、意見をもらいましょう。